

菊まちネット

(第5号)

発行 菊水地区まちづくり
ネットワーク会議
会長 真鍋 義雄
菊水まちづくりセンター 内
(菊水7条2丁目2-20)
電話 811-9445 FAX 811-3831

謹賀新年



本年も宜しくお願い致します。

平成21年 元旦

自治組織代表者研修会【まちづくり協議会情報交換会】

10月9日(木)午後3時30分札幌フローラにおいて、白石区町内連合会連絡協議会主催(真鍋義雄会長)の自治組織代表者研修会(まちづくり協議会情報交換会)が開催されました。地域住民のボランティアによるまちづくりをテーマに白石区では町連毎に8つのまちづくり協議会が活発な活動を展開して居ります。今回は、4つのまちづくり協議会の代表者により、活動事例の報告が行われました。

(東札幌)

「共生のまちを目指して
～ボランティアによるまちづくり～」

(菊水)

「菊水地区における安全安心の取り組みについて
～ワーキング会議からネットワーク会議へ～」

(白石東)

「安全安心で魅力あるまちづくりを目指して」

(菊の里)

「子どもの笑顔・絆を大切にすまちづくりに向けて
～子育てサロンわくわくポケットの活動状況～」

菊水地区からは、「安全安心の取組について」と題して、「菊水地区まちづくりネットワーク会議」安全・安心部長の折原政幸さんが報告しました。菊水地区としては今回が初めての報告となりましたが、発表の概要は菊水地区まちづくりネットワーク会議の設立に至った経緯や、5つの部会活動と具体的活動状況、そしてネットワーク会議の前身と成った「ワーキング会議」での討議結果から、安全安心の取組や地域の諸問題を解決するには、町内会をはじめとする各団体の連携や協力が重要との認識で一致、菊水町内会連絡協議会に対し、ネットワーク会議の設立について具申・要望があり、現在に至っている旨の報告がありました。



第39回 白石区中学生の主張発表会

10月18日(土)第39回白石区中学生の主張発表会が白石区ふるさと会と白石区主催で白石区民センター3階区民ホールで開催されました。今年も宮城県白石市の2つの中学校から特別発表で2名が参加、白石区の中学校からは16名が参加。発表後の審査結果は、以下のとおりでした。

2年生では、最優秀賞(日章中 塚野萌美さん)
優秀賞(幌東中 野月美憂さん)
3年生では、最優秀賞(北白石中 浮島美緒さん)
優秀賞(日章中 山谷理沙さん)

約200名の聴衆を前に、自分の考えや主張を憶することなく堂々と発表し、大人として考えさせられる場面も多々あり、感動する内容でした。

この白石区中学生の主張発表会は昭和45年白石入植100年を記念し、将来郷土を背負って立つ若者が人前で堂々と意見を言える社会人と成るようにと、有志によって企画されました。

白石弁論会を中心に進められ、第6回からは白石区と共催、第8回からは白石弁論会に代わり、白石区ふるさと会が札幌市と共に主催団体となり、学校や地域、各団体の暖かい支援を受けて、現在まで多くの中学生弁士を世に送り出して来ました。



菊水地区自主防災訓練を実施

10月24日(金)菊水地区会館において菊水町内会連絡協議会の自主防災訓練が実施されました。当日は消防署職員多数の協力のもとに、自主防災に関するビデオの上映や自主防災資機材の取り扱い、AEDによる応急処置の仕方や操作の仕方、防災・防火の講話が行われました。

これは、毎年行われる自主防災訓練により、地域住民の防災意識を高め、いざと云う時に的確な災害対応が出来るよう実施されているものですが、参加者の中には、「札幌だって、阪神・淡路大震災や新潟県中越大地震のような災害がいつ起きるか分からない、出来るだけ多くの皆さんが参加して

欲しい」との意見がありました。

最後には日赤奉仕団菊水分団の皆さんが調理した非常食を試食。スタッフも加え約100名の参加者でした。



写真コンテスト実施 「菊水まちづくりネットワーク会議」環境・文化事業部

(テーマ : 菊水の魅力を発見しよう)

「菊水地区まちづくりネットワーク会議・環境文化部」では地域の写真愛好家を対象に「菊水の魅力を発見しよう」をテーマに、作品を募集しました。(10月1日～10日の期間)その結果16名の方から、作品点数39点、写真枚数にして94枚の応募がありました。これは、11月6日に開催される「高齢者のふれあい交流会」に合わせて写真展示会を実施、参加者に日頃気が付かなかった菊水の魅力を楽しんで頂こうと計画したのですが、テーマの「菊水の魅力を発見しよう」を素直に表現した素晴らしい作品が展示されていました。尚、応募された、作品は審査委員会を開催し、厳正な審査を行い、最優秀賞1点、優秀賞3点を選び「高齢者のふれあい交流会」開催時に表彰式と記念品の授与を行いました。



パソコン教室 「デジカメ写真活用・年賀状作成」

12月8日(月)～12日(金)まで、午前と午後の2コースを実施いたしました。今回は、年賀状作成時期に合わせて「自分でオリジナルな年賀はがきが作れるように！」コースを計画し、当初1コースを予定していましたが、応募多数の為2コースに変更したものです。自分で映したデジカメの写真を年賀状に貼り付け、オリジナルな年賀状を作るのは、やはり魅力的です。この技術は、更に発展させると将来アルバムを作ったり、チラシや案内状を作ったりするのも役立つと思います。希望のコースなどがありましたら、まちづくりセンターまでお知らせ下さい。



菊水地区ホームページ作成準備委員会を開催

11月19日(水)「菊水地区まちづくりネットワーク会議・情報部」と「福祉のまち推進センター・広報部」との協同により、地域のホームページ作成準備委員会が、北海道情報専門学校(ボランティア参加の学生さん2名、主任講師1名)の参加を頂き、いよいよ本格的に活動を開始致しました。

そもそも、ホームページは「地域コミュニティづくり」の一つのツールとしての側面をもつて居りますが、若い共稼ぎのご夫婦、個人事業所経営者等、現役世代の方たちには忙しい毎日の中で、関心も持てないし、廻ってくる回覧板も見ず、次に廻すと云うのが現実ではないでしょうか。しかし、一方では、安全に遊べる児童会館はどこにあるのか、地域の子どもたちとの交流の場や、行事はいつか、町内会や団体の活動はどのようなものがあるのか、手軽に得られる情報があれば、行事参加への動機づけや、地域交流のきっかけにもなり、不信感や不安感も解消されると思います。パソコンの普及は著しく、納税申告、証明書発行申請、電子会議等々、活用例は多岐にわたって居るのが現状であります。「菊水地区まちづくりネットワーク会議」ではホームページを通じて地域活動を身近に感じ

て頂き、地域交流のきっかけに成ればと思って居ます。当面、次の事をキーワードに進めて参ります、ご期待ください。

尚、開設予定は4月頃となります。

- 1、必要性＝見に来た人にとって必要な内容か
- 2、独自性＝ここでしか得られない情報か
- 3、速度＝タイムリーな情報か
- 4、企画力＝興味深い内容か、楽しめる内容か
- 5、現状把握＝ニーズや、周りの評価は
- 6、持続可能＝担当者が変わっても持続可能か



「菊水地区まちづくりネットワーク会議」ってなんですか？

札幌市では、平成19年4月に「自治基本条例」が施行されました。これは市民が主役になって「まちづくり」を進めるためのルールです。市民、議会、行政のそれぞれの役割や、仕組みが規定されています。「だれかがするだろう」「それは行政の仕事だ」と無関心でいるのではなく、ひとりでも多くの市民が参加し「自分達の地域は自ら考え、皆と一緒によりよくしていく」そして「行政と連携・協働しながら地域づくりをして行く」これが「住民自治」であり「菊水地区まちづくりネットワーク会議」です。地域のことは、地域に住む人が一番よく知っています。困っていることがあれば、まず自分達でやってみる、必要なら行政と協力して問題を解決して行く、これが「住民自治」です。



パークゴルフは、昭和58年に北海道の幕別町で誕生したスポーツですが、今では殆どの市町村にコースがありますし、現在では本州、九州、海外でもハワイ、オーストラリアにまで、普及している様です。又、パークゴルフの人口は現在約30万人とも云われています。パークゴルフはゴルフのプレーを基本とした、気軽に、いつでも、誰でも男女を問わず、子どもから、お年寄りまで幅広く、3世代の人々が同時に楽しめるスポーツです。芝生の上で太陽の光をいっぱい受けながらボールを打ち、打数を競い合いながら18ホールをまわる(約2000歩歩く)事に成りますので運動不足の解消や健康増進にもつながるのが特徴です。ホールインワンでも出ればもう病み付きです。又、最近では、冬でもビニールハウスの中で、ハウスからハウスをプレーして廻るコースもあり、終わればハウス内で食事も出来るし、本当に最高……編集子